

平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年10月28日

上場会社名 株式会社セラーテムテクノロジー
 コード番号 4330 URL <http://www.celartem.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月2日

上場取引所 大

(氏名) 池田 修
 (氏名) 宮永 浩明
 配当支払開始予定日

TEL 03-6820-0740

未定

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	420	20.6	28		16		16	
21年6月期第1四半期	529	14.0	72		79		80	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	139.78	
21年6月期第1四半期	1,010.61	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年6月期第1四半期	1,445		900		62.0	6,558.09
21年6月期	1,176		564		48.0	7,065.53

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 895百万円 21年6月期 564百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期					
22年6月期					
22年6月期(予想)					

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	750	29.1	30		30		30		263.43
連結累計期間	1,600	13.9	10		10		10		87.81
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)
期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第1四半期 136,567株 21年6月期 79,833株
期末自己株式数 22年6月期第1四半期 株 21年6月期 株
期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第1四半期 117,088株 21年6月期第1四半期 79,833株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。つきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(業績の状況)

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機による景気減速が緩やかに改善し、生産に持ち直しの動きが見られるものの、失業率が改善しないことや消費も回復の目処がたないこと、急激な円高による企業業績への影響が懸念されることなど厳しい経済環境が続いております。当社の主要市場である北米においても景気の回復は見られず、設備投資の抑制が続くなど、下振れリスクも存在しています。

このような経営環境下において当社グループでは、新経営陣の下、第三者割当増資と転換社債型新株予約権付社債の発行により資金調達を行い、財務基盤を強化し、当社グループ成長戦略を積極的に実行するとともに、全社的な営業黒字体制の確立のために取り組みました。

その結果、売上高については、当社の主力製品であるフォント管理(Font)分野を中心に前年同期に比べ減少したものの、前期末から取組んだ大幅な組織再編によるコスト削減の効果から、営業損益は前年同期に比べ大幅に改善し、当第1四半期連結会計期間においては、営業黒字化を達成いたしました。

当第1四半期連結会計期間末において、急激な円高を原因とする為替差損が発生し利益を圧迫したものの、経常利益、四半期純利益とも前年同期に比べ大幅に改善し、当第1四半期連結会計期間においては、黒字となっております。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高が420百万円(前年同期比20.6%減)、営業利益が28百万円(前年同期72百万円の損失)、経常利益が16百万円(前年同期79百万円の損失)及び四半期純利益が16百万円(前年同期80百万円の損失)となりました。

また、所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

日本は、欧米の連結子会社のコントロールを通じ、連結グループ全体の経営を行うとともに、日本市場に向けて営業活動を行っております。当第1四半期連結会計期間において売上高は6百万円(前年同期比76.9%減)となりました。営業損失は54百万円(前年同期は営業損失58百万円)となりました。

北米

100%連結子会社である米国Celartem, Inc.が、オレゴン州ポートランドを拠点とするExtensis部門とワシントン州シアトルを拠点とするLizardTech部門を有し、全世界に製品を販売しております。当第1四半期連結会計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて413百万円(前年同期比17.5%減)となりました。営業利益は56百万円(前年同期は営業利益10百万円)となりました。

欧州

100%連結子会社であるCelartem Europe Ltd.が英国ノースハンプトンを拠点に欧州市場全体に販売促進活動を行っております。当第1四半期連結会計期間において売上高はセグメント間の内部売上高を含めて25百万円(前年同期比20.4%減)となりました。営業利益は2百万円(前年同期は営業利益0.8百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べて79%増加し1,339百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加が569百万円あったことや、受取手形及び売掛金が22百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて75.4%減少し105百万円となりました。これは定期性預金が1年以内に満期をむかえるため、固定資産から流動資産に振替えられたことによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて22.9%増加し1,445百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.9%減少し545百万円となりました。これは主として未払金及び未払費用が15百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて59.5%増加し900百万円となりました。主な増加要因は、第三者割当増資および転換社債型新株予約権付社債の権利行使により資本金が150百万円、資本準備金が150百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末において、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末よりも269百万円増加し、807百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(1)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、26百万円(前年同期13百万円)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益16百万円、減価償却費13百万円、売上債権の増加額33百万円等であり
ます。

(2)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は、0.05百万円(前年同期15百万円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出8百万円等であります。

(3)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、300百万円となりました。

主な要因は、転換社債の発行による収入120百万円、株式の発行による収入180百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては現在精査中であり、平成21年8月7日に公表した数値から変更の必要がある場合は、
速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によ
っております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	965,275	396,104
受取手形及び売掛金	191,127	168,444
有価証券	142,244	142,216
たな卸資産	3,235	2,540
前払費用	28,316	36,460
短期貸付金	90,210	96,020
その他	21,375	14,454
貸倒引当金	101,805	108,206
流動資産合計	1,339,978	748,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,918	3,283
工具、器具及び備品(純額)	37,162	46,104
有形固定資産合計	42,080	49,388
無形固定資産		
特許権	10,701	10,185
ソフトウェア	23,113	28,840
その他	506	506
無形固定資産合計	34,321	39,532
投資その他の資産		
長期前払費用	3,054	3,183
差入保証金	25,811	26,120
長期預金	-	300,000
その他	0	9,939
投資その他の資産合計	28,866	339,244
固定資産合計	105,268	428,165
資産合計	1,445,246	1,176,201
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,164	29,215
未払金及び未払費用	117,468	133,250
未払法人税等	3,207	7,426
前受収益	391,719	370,242
返品調整引当金	2,592	781
事業再編引当金	7,905	12,371
その他	2,968	58,593
流動負債合計	545,026	611,882
負債合計	545,026	611,882

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,006,213	3,856,151
資本剰余金	3,564,413	3,414,351
利益剰余金	6,416,651	6,433,018
株主資本合計	1,153,975	837,484
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	258,356	273,422
評価・換算差額等合計	258,356	273,422
新株予約権	4,601	256
純資産合計	900,220	564,318
負債純資産合計	1,445,246	1,176,201

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	529,773	420,027
売上原価	45,165	12,626
売上総利益	484,607	407,401
販売費及び一般管理費	556,948	378,990
営業利益又は営業損失()	72,340	28,410
営業外収益		
受取利息	3,396	174
その他	94	1,410
営業外収益合計	3,490	1,585
営業外費用		
為替差損	10,989	13,169
営業外費用合計	10,989	13,169
経常利益又は経常損失()	79,838	16,826
特別損失		
投資有価証券売却損	556	-
特別損失合計	556	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	80,395	16,826
法人税、住民税及び事業税	284	459
法人税等合計	284	459
四半期純利益又は四半期純損失()	80,679	16,366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	80,395	16,826
減価償却費	18,869	13,489
のれん償却額	8,242	-
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	556	-
為替差損益(は益)	285	2,813
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,282	152
受取利息及び受取配当金	3,396	174
売上債権の増減額(は増加)	6,721	33,335
仕入債務の増減額(は減少)	13,157	9,032
その他	41,676	16,049
小計	14,006	25,309
利息及び配当金の受取額	3,396	174
法人税等の支払額	3,353	1,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,964	26,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	14,166	8,006
無形固定資産の取得による支出	1,149	1,681
長期前払費用の取得による支出	353	196
投資有価証券の売却による収入	533	-
その他	-	9,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,136	55
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債の発行による収入	-	120,000
株式の発行による収入	-	180,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	300,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	924	4,071
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	30,025	269,198
現金及び現金同等物の期首残高	770,588	538,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	740,562	807,520

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループはソフトウェア関連事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントがありませんので、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,693	497,577	-	2,502	529,773	-	529,773
(2) セグメント間の内部売上高	-	3,520	32,340	-	35,861	35,861	-
計	29,693	501,097	32,340	2,502	565,634	35,861	529,773
営業利益又は 営業損失()	58,052	10,788	864	12,271	58,671	13,668	72,340

当第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,847	413,179	-	-	420,027	-	420,027
(2) セグメント間の内部売上高	-	212	25,739	-	25,951	25,951	-
計	6,847	413,392	25,739	-	445,979	25,951	420,027
営業利益又は 営業損失()	54,126	56,131	2,784	-	4,789	23,621	28,410

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米.....米国

欧州.....イギリス

アジア.....韓国

なお、韓国の拠点は平成20年12月をもって閉鎖されました。そのため、当第1四半期連結累計期間において、アジアのセグメントの活動はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

	北米	欧州	その他	計
海外売上高(千円)	355,600	122,763	23,648	502,013
連結売上高(千円)	-	-	-	529,773
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	67.1	23.2	4.5	94.8

当第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	北米	欧州	その他	計
海外売上高(千円)	308,680	91,704	10,659	411,045
連結売上高(千円)	-	-	-	420,027
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	73.5	21.8	2.5	97.9

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北米.....米国、カナダ

欧州.....フランス、イギリス他

その他.....韓国、中国、台湾他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年7月3日付で、池田修、宮永浩明、藤本秀一の3名から第三者割当増資の払込みを受けました。また、平成21年9月15日付で転換社債型新株予約権付社債の権利行使がなされました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が150,062千円、資本準備金が150,062千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が4,006,213千円、資本準備金が3,564,413千円となっております。